

TDLAS アンモニア分析計

TDL600-NH3

移動式TDLASアンモニア分析計

TDLAS（半導体レーザー吸収分光）技術に基づく、カート型の移動式アンモニア分析計。高温加熱サンプルラインから190℃の高温測定セルまで全経路を加熱し、サンプルの変質なくNH₃濃度を測定します。多重反射技術により光路長を拡大し、検出下限0.1ppmの高感度を実現。単線スペクトル方式のため背景ガスの干渉を受けません。排出ガス測定、第三者検査機関、緊急時測定、実験室分析などに適した一体型設計です。



測定対象：NH₃、HCl、HF

主な用途：環境・排ガス監視、研究開発・大学

■ 特長

- ・全経路高温測定（190℃）でサンプルの変質・吸着ロスを防止
- ・多重反射技術で光路長を拡大、検出下限0.1ppmの高感度
- ・単線スペクトル方式により背景ガスの交差干渉なし
- ・低ドリフト：±1%FS／6か月、メンテナンス負荷小
- ・カート型一体構造で移動・現場測定が容易
- ・ゼロ・スパン標準ガスボンベを両側面に搭載可能、側面パネルから容易に保守

■ 主な仕様

測定原理	TDLAS（半導体レーザー吸収分光法）
測定対象	NH ₃ （HCl、HF等も対応可）
測定レンジ	0-50／100／1,000ppm（レンジはカスタマイズ可）
検出下限	0.1ppm
応答時間	T90 10秒未満
精度・再現性	1%FS／1%FS未満
ドリフト	ゼロ・スパン 1%FS／6か月
サンプリング・測定温度	190℃（ウォームアップ約30分）
出力	RS232、4-20mA（故障・校正エラー・高濃度アラーム出力）
表示	LCDタッチパネル
電源・環境	AC220V±10% 700W未満、-10～55℃、湿度90%RH未満
寸法・質量	600H×600W×350D mm、約33kg

※ 本資料は銘田株式会社が作成した日本語参考資料です。記載の仕様は代表値であり、予告なく変更される場合があります。正式な仕様はメーカー発行の資料または当社までご確認ください。